

1.技 術	1.2 物理化学的処理による下廃水の処理
2.事 業 名	1.2.16 皇居外苑濠における局所的・一時的アオコ対策技術実証事業
3.キーワード	浄化処理技術、吸着、水環境
4.目的	<p>本事業は、皇居外苑濠は皇居の景観として重要な位置づけにあり、近年水質の悪化が進み、アオコの大量発生が問題となっているため、東京オリンピック期間中のアオコ大量発生に備え、対策技術の局所的・一時的有効性を実証することを目的とする。</p>
5.内容、成果	<p>実施場所は千鳥ヶ淵下流部で、皇居外苑濠の水質として、透明度 1m、chl-a30μg/L未満、T-P0.05 mg/Lを目指す改善計画が策定されているが、今回委託業務の評価指標としては、「水面へのアオコの層状の集積が発生しない(対象期間：7月下旬～9月上旬)」ことと規定されている。</p> <p>浄化技術として、国内外の閉鎖性水域の浄化で実績を示しつつある、天然鉱物で構成されるルミライトを用いて、これを散布して水中のアオコや懸濁物質を吸着沈殿除去する方法を採用し、浄化の局所的・一時的効果の評価した。平成30年7月9日～9月13日の間、実証対象エリアに計15回のルミライト散布を行い、アオコの局所的・一時的除去効果を確認し、実証業務報告書を提出した。</p>
6.参照	本事業は、環境省からの委託事業として実施したものである。